

パレスチナと ともに生きる

― 苦難のなかにある人々の尊厳を見つめて ―

講師

金城 美幸さん

名古屋学院大学国際文化学部講師

第二次世界大戦後の世界は、戦争犯罪、人道に対する罪、ジェノサイド（集団殺害罪）などの重大な国際犯罪の防止を誓いました。しかし、2023年10月以降、イスラエルはパレスチナのガザ地区に対する攻撃を続けており、そこでは上記の国際犯罪が指摘されています。パレスチナにおいてなぜ、このような悲劇が起きているのでしょうか？パレスチナの歴史を紐解き、暴力を止めるために私たちができることについて考えていきます。

入場無料・申込不要

2026年

要約筆記あり

手話通訳あり

託児あり

12月5日 土

開場 13:00
開会 13:30

小郡市文化会館 大ホール

※託児希望の方は、11月25日(水)までにお申し込みください。



【講師プロフィール】

パレスチナ研究。イスラエル建国（1948年）によって故郷を追われたパレスチナ難民の記憶について研究している。主な論文に「パレスチナ人の法的闘争を読み解く——国連と国際法を通じた連帯のために」『現代思想』2025年2月、「帰還の権利を实践する——パレスチナ難民のミクロな経験から」鶴見太郎・今野泰三編『帝国と民族のあいだ——パレスチナ/イスラエルの重層性』（東京大学出版会、2025年）など。

12月4日～10日は人権週間です

●主催／小郡市・小郡市教育委員会 ●問合せ先／小郡市人権・同和対策課 TEL0942-73-9122